

第5学年 国語科学習指導案

指導者 ****

1. 日時：令和元年*月*日（*） 第2時限目 9：35～10：20
2. 学年・組：第5学年*組（*名）
3. 場所；5学年*組教室
4. 単元名：「大造じいさんとガン」
5. 単元目標：

登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめるとともに、それを発表し合い、考えを広げたり 深めたりすることができる。
6. 児童観

本学級の子どもたちは、とても元気で活発な子が多い。授業中でも手を挙げて発表する児童が多い。「残雪」の行動から「大造じいさん」の心情を考えた際にも、しっかりと「大造じいさん」になりきり、心情を考えることができていた。
7. 教材観

本作品には、ガンの頭領「残雪」と、狩人「大造じいさん」との間に繰り広げられる生存のための厳しい闘争を通じて、美しいもの、感動すべきものに素直に心を動かしている大造じいさんの人間味あふれる姿が、緊迫した雰囲気の中で生き生きと描かれている。残雪のもつ知恵や勇気、統率力のすばらしさと、残雪の行動を本能と知りながら、本能的行動と決めつけず人間に引き写して、感動をもって対している大造じいさんの人間らしさ、正義感、愛情を感じさせたい。
8. 指導観

情景描写を読み取る力を定着させるために、情景描写自体の理解をしっかりとさせたい。また、「大造じいさん」の人物像や関係を明確にし、「大造じいさん」の心情を場面ごとに比較することで、関係や心情の変化に気づかせたい。情景描写から自分の良いと思ったところを見つけ、友達同士で見せ合うことで、同じ物語を読んでも、感じ方に違いがあることに気づかせ、物語の魅力を感じることができるようになりたい。

9. 評価規準

【関】人物の心情や場面の様子を表す表現を味わいながら読もうとしている。

【読】

- ・心情や場面の様子が伝わるように音読している。
- ・「情景」の意味について理解している。
- ・登場人物の心情や動き、情景を表す表現を捉え自分の考えをまとめている。
- ・友達の発表を聞いて、感想を伝え合っている。

【言】言葉や表現に気をつけて様子を想像している。

10. 学習計画（7時間）（本時4/7）

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
1	1	<p>○物語の紹介例を聞き、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>○題名と前書きを音読しそこからどんな物語なのか想像し、発表する。</p> <p>○音読をしながら、教科書に段落を書いていく。</p> <p>○魅力を感じたところ、印象に残った場面をまとめ、発表する。</p>	<p>・「大造じいさん」の職業や年齢を押さえさせる。</p>	【関】
2	2 3	<p>○「残雪」の様子・行動や「大造じいさん」の心情がわかる表現に線を引きながら、黙読する。</p> <p>○「大造じいさん」の「残雪」に対する心情がどう変わっていったのかを考える。</p>	<p>・「大造じいさん」の心情は、「残雪」の様子や行動とともに変化していくことを伝える。</p> <p>・物語の初めと終わりでは、「大造じいさん」の「残雪」に対する見方が変わっていることを確かめさせる。</p>	ワークシート①

	4 本 時	○情景描写を見つけ、そこに表現された「大造じいさん」の心情を想像する。	・なぜその表現が採られているかを考えさせ、「大造じいさん」の心情に迫っていく。	ワークシート②
	5 6	○「大造じいさんとガン」の魅力を考え、まとめる。	・物語の魅力が隠れているところを確認させる。	【言】
3	7	○物語の魅力を伝え合う。 ○交流した感想を発表する。 ○単元の学習を振り返る。	・友達の考えた魅力を聞き、新しい魅力を発見できるようにする。	【言】

11. 本時の目標

「大造じいさん」の「残雪」に対する心情を、情景描写に着目して読み取り、印象に残った表現を見つけることができる。

12. 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
導入	○本時のめあてを確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 情景を表す表現から「大造じいさん」の心情を想像しよう。 </div>		【読】
展開	○「情景」とは何かを確認する。 ○「3」場面を黙読し、情景描写を見つけ、そこに表現された「大造じいさん」の心情を想像する。 ・隣同士で話し合う。	・「情景」とは何かをすぐに確認できるように前に貼っておく。 ・「大造じいさん」になりきって、心情に迫らせていく。	ワークシート② 【読】

	<p>○「2」場面の情景と比べて、「大造じいさん」の心情の違いを考える。</p> <p>○「4」の場面を黙読し、情景描写を見つけ、そこに表現された「大造じいさん」の心情を想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣同士で話し合う。 <p>○印象に残った情景描写と理由を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「大造じいさん」の思いの強まりに気づかせる。 ・4場面だけ、迎える秋ではなく見送る春であることを確認させる。 ・友達の意見を聞いて、様々な感じ方があることを確認させる。 	
まとめ	○本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しを持つ。		

13. 板書計画

